

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:2023年3月31日

事業所名 ククル 保護者等数(児童数) 17 回収数 14 割合 82 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	5	0		利用者の皆様の成長に伴い、活動等も活発になってくる中、事業所の施設には変更もなく、限られたスペースの中での活動になっています。限られたスペースで安全に活動していけるよう、今後も十分に配慮していきたいと思っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2	1		専門職員の加配を行い、またそれ以上に職員を配置する等して支援にあたっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	7	0		急な階段等もありますが、移動の際は必ず職員が付き添うなど、今後も安全に気をつけます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	0	0		個々の利用者の像をしっかりとらえ、課題を分析して計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	・夏祭り等、夏休み中にも何か保護者参加のイベントがあってもいいかも。	いつも子どもたちと楽しむことが多い夏休みですが、今後もいろいろな行事等を考えていきたいと思っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	11	2		地域の中での放課後等デイであることを心がけ、地域で生活をする中での自然な交流や活動の機会を持っていきたいと考えています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	1		今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1	1		面談や日々の送迎時のお話等を通して、保護者の皆様と共有を行っていききたいと思っています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	0		定期的に行っている面談や、それ以外の場面でも積極的にお話しを伺うようにしています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	1	・他の利用者も知らないし、保護者など全く関わりを持ったこともない。	クリスマス会での保護者の交流の機会を設けていますが、参加は自由になっております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	1	・対応策は提示なく、大変だとしか言わない。	苦情があった際には、迅速に対応をし、説明や今後の対応についてもしっかり行っています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	1		連絡ノートを作成して情報の共有を行っています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0		通信では、長期休みの活動の様子や組織全体の情報の発信、ホームページでは週単位での活動や研修の様子等を発信しています。
	14 個人情報に十分注意しているか	13	1	0		個人情報には十分に注意していきます。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1	0		マニュアルは作成後も定期的に見直し、情報の更新を行っています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	0	0		年2回の研修と訓練を行っています。また、今年度は業務継続計画についても作成を行いました。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0		楽しく通所していただけるのが一番大切なことであり、子どもたちと職員も一緒に楽しくすごせることを日々ありがたく感じています。
	18	事業所の支援に満足しているか	12	1	1	・聴覚過敏のある子にとってイヤマフは大切なツールの一つであり、外して活動する姿には違和感を感じる。積極的に使ってもらいたいと思っている。	いつもいろいろな面でご協力いただき、大変ありがたく思っております。今後も保護者の皆様や学校等とも協力して支援にあたっていきたく考えています。個々の利用者の姿をしっかりとらえ、課題を認識したうえで、集団の中ですごす力をつけていけるように支援をしていきたいと思っております。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。